

#コロナに負けるな企画 ほすくま が繋ぐ交流企画
ペープサート（紙人形劇）の台本

（登場人物）

- アマビエ先生
- しんたろう
- ほすくま

（台本）

アマビエ先生	「やあ、〇〇保育園のみんな、こんにちは！ぼくは、病気を吹き飛ばすために遠い国からやってきたアマビエです。今日はみんなにコロナウイルスについて教えに来たんだ。」
しんたろう	「アマビエ先生こんにちは。ぼく、しんたろうっていうんだ！よろしくね。」
アマビエ先生	「よろしく、しんたろうくん。早速だけど、しんたろうくんは、コロナウイルスって知っているかな？」
しんたろう	「うん。いま、いろんな大人の人がお話をしている病気だよな？」
アマビエ先生	「そう。今、コロナウイルスという新しい病気が世界各地で広がっているんだ！」
しんたろう	「コロナウイルスってどんな病気なの？」
アマビエ先生	「喉が痛くなったり、熱が出たり、とても苦しい病気なんだよ。」
しんたろう	「お熱が出た時って苦しいよね。僕は風邪をひいた時はお母さんがお薬をだしてくれるよ。」
アマビエ先生	「そうだね。風邪の時はお薬を飲んで、安静にしていればいいよね。だけど、このコロナウイルスっていう病気は、治す薬や予防薬がないの。他の病気にはそれを治すためのお薬があるんだけど、コロナウイルスのお薬はまだ発明されていないんだ。だから、何よりもかからないようにしなくちゃいけないんだよ。」
しんたろう	「そうなんだ。気を付けなくちゃ。コロナウイルスはどんな形をしているの？」
アマビエ先生	「このコロナウイルスという病気は、目に見えないんだ。どこで、誰が、感染するか分からない。だから気を付けなくてはならない。病気にかかってしまったら、もしかしたら病院で入院しなくちゃいけない。そうなってしまうと、

他の人に病気がうつらない様に、治るまでは、大切な人にも会えないかもしれないんだ。」

しんたろう 「さみしいね。ぼく怖くなってきちゃったよ。」

アマビエ先生 「そうだね。特におじいちゃん、おばあちゃんはコロナウィルスにかかりやすい方が多いんだ。だから、僕たちは、大切な人を守るためにも、一人一人元気に健康でなくちゃならない。大切な人がずっと元気でいて欲しいなら、自分も健康でいることが大切なんだ。」

しんたろう 「健康でいるために、僕は何をしたらいいのかな？」

アマビエ先生 「大丈夫！健康でいるために気を付けることは三つ。この三つを守れば、コロナウィルスから体を守れるよ。」

――【気を付けること3つのパネル】――

アマビエ先生 「気を付けなくてはいけないことは、手洗いうがい、早寝早起き、ご飯を三食しっかり食べる。この三つだよ。」

【手洗いうがい】

アマビエ先生 「手や口の中にはバイキンがいっぱいついてるんだ。だから、外に出さないと体の中にばい菌が入っちゃうから、必ず手洗いうがいをしようね。」

【早寝早起きすること】

アマビエ先生 「寝不足だと体が疲れて、悪いバイキンから体を守る力が無くなってしまふんだ。」

【三食しっかり食べること】

アマビエ先生 「ごはんをしっかり食べて、体に栄養を与えないといけないんだよね。好き嫌いせずに、バランスよくしっかりご飯を食べると、万が一ばい菌が体に入ってきてしまっても、やっつけることができるんだ。」

アマビエ先生 「この三つに気を付けていれば大丈夫！健康で元気でいられるから、コロナウィルスも怖くない！元気な体でいられるよ。」

しんたろう 「分かった。ぼく頑張るよ！」

アマビエ先生 「そして、大切なことがもう一つあるんだ。」

アマビエ先生 「おじいちゃん、おばあちゃん、お友達、大切な人に会う前は、お熱がないか必ずお母さん、お父さんに確認してもらおうね。お熱がないか確認したあとに、ぼくたちは元気だよって伝えるとみんなとっても安心するんだ。」

しんたろう 「そうだね！みんなに会いに行く時は必ずお熱がないか測ってもらうようにする！じゃあ、遠くにいるおじいちゃん、おばあちゃん達に、僕が元気なことを伝えたい時は、どうやって伝えればいいのか？」

アマビエ先生 「そうだよね。遠くにいる人たちにも元気なこと伝えたいよね。そんな時は、僕のお友達、ぼすくまが協力してくれる。紹介するね。
ぼすくまー！！」

ぼすくま 「ぽっす〜！アマビエ先生、しんたろうくん、こんにちは。ぼくは、みんなの大切なお手紙を届ける郵便屋さんのぼすくまだよ！今日は〇〇保育園のみんなに、おじいちゃん、おばあちゃんに元気を届けるための、“お手紙”のお話をしにきたよ！」

しんたろう 「お手紙〜？」

ぼすくま 「そう、お手紙。お手紙というのは、紙に嬉しい気持ちや、今伝えたい気持ちを書いて贈るもの。大切な人に会えなくても、気持ちが伝わる魔法の紙のことを、お手紙っていうんだ。これを届けると、送られた人はすごく喜んで、元気になるんだよ。」

しんたろう 「最高だね！それはどうやって送るの？」

ぼすくま 「まず、紙に届けたい思いをのせてお手紙を書いた。書き終わったら、この封筒に入れて切手をはると、遠くにいるおじいちゃん、おばあちゃんのもとへ届けることができるんだ。」

しんたろう 「どうして切手と封筒がなきゃいけないの？」

ぼすくま 「封筒は、絶対にないといけないわけではないんだけど、封筒に手紙を入れることによって、綺麗に守ってくれるんだよ。」

しんたろう 「そうか。とっても大事だね。」

ぼすくま 「そして、遠くにいるおじいちゃん、おばあちゃんに届けるためには切手がかならず必要なん

だ。切手には魔法がかかっていて、切手をはれば、どんなに遠くにいるおじいちゃん、おばあちゃんにもしっかり届けてくれるよ。」

しんたろう 「お手紙って素敵だね。ぼく手紙を書いてみたくなったよ。〇〇保育園のみんなも手紙を書いてみたくなったかな？」

——園児の反応——

ほすくま 「じゃあみんなで書いてみよう。みんなが一生懸命書いたお手紙は、ぼくがおじいちゃん、おばあちゃんに届けるからね。」

しんたろう 「ほすくま、どうもありがとう！！」

アマビエ先生 「ありがとう、ほすくま」

アマビエ先生 「さあ、みんな、コロナウィルスから体を守るためのお話と、元気を届けるお手紙のお話、みんなしっかり聞いたかな？
ここからは、先生のお話をよく聞いて、お手紙を書くことをいっぱい楽しんでね～」

ほすくま 「書いたお手紙は、この赤いポストに入れてね！」

ほすくま 「さあ、みんなで書いてみよ～！！」

アマビエ先生 「おおおお～！！」

しんたろう

——ルンルンで退散していき終了——